

第9回 入間市市民意識調査

ダイジェスト版

この冊子は、平成20年度に実施しました「第9回入間市市民意識調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました市民の皆様に心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、市庁舎1階市政情報コーナー、市内の各図書館、各支所に備え付けの調査報告書をご覧ください。また、市公式ホームページではPDF版の調査報告書を掲載しています。

平成21年3月

入間市企画部広報広聴課

【調査概要】

調査地域 入間市全域
調査対象 市内在住の満20歳以上の男女個人
標本数 2,000人
抽出方法 住民基本台帳による等間隔無作為抽出法
調査方法 郵送によるアンケート調査
調査期間 平成20年9月16日～9月30日
回収数(率) 1,234件(61.7%)

【報告書の見方】

図表中のNは、回答者総数。
割合はNを100.0%として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が100.0%にならない場合がある。
複数回答は比率の合計が100.0%を超える場合がある。

【調査項目】

基本的な属性
暮らしやイメージ、地域活動
生活環境
ボランティア活動
防災関連について
情報化について
「広報いるま」や市政情報について
施設利用について
健康・スポーツ、芸術文化活動について
行財政改革について
人権問題
意見・要望

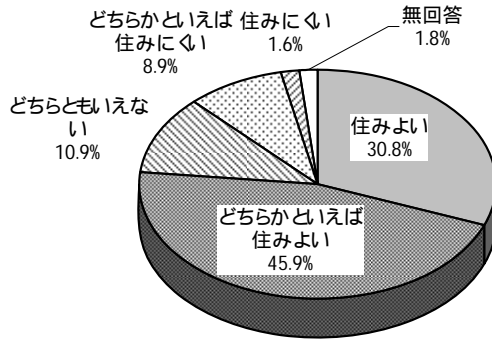
【調査実施機関】

入間市(企画部広報広聴課)

暮らしやイメージ、地域活動

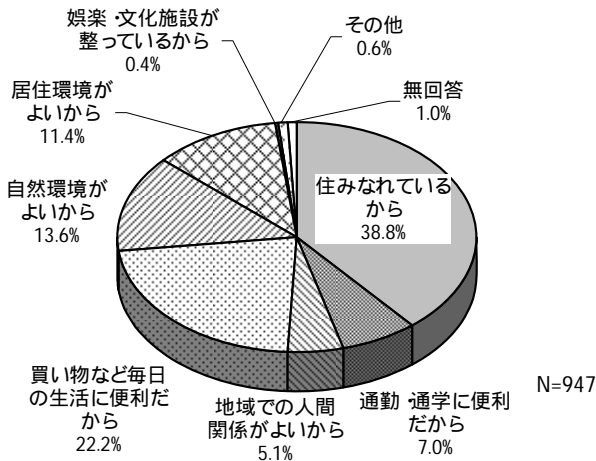
住みよさの全体評価

人間市は住みよいという人が 76.7%、住みにくい人は 10.5%



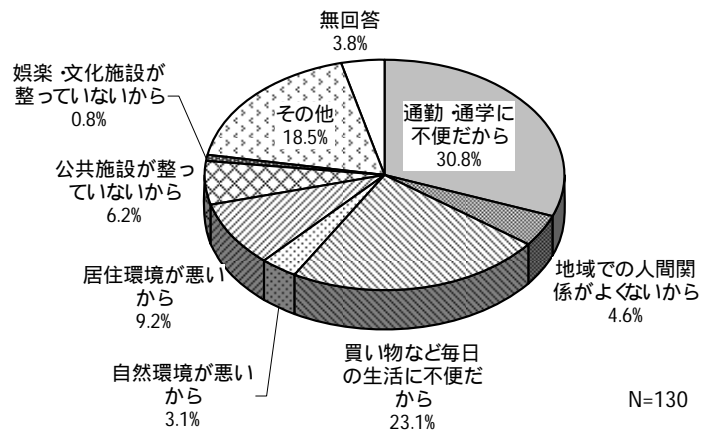
住みよい理由

「住みなれているから」が 38.8%



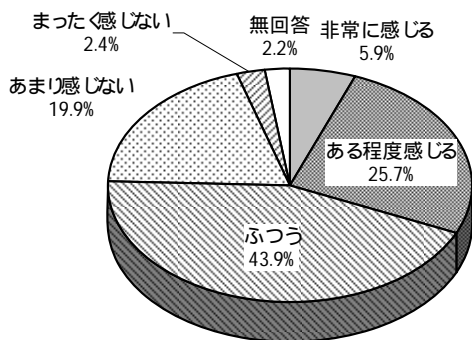
住みにくい理由

「通勤・通学に不便だから」が 30.8%



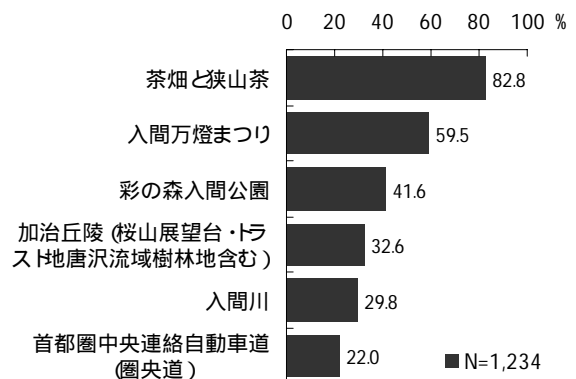
人間市に対する誇りや愛着

「ふつう」が 43.9%



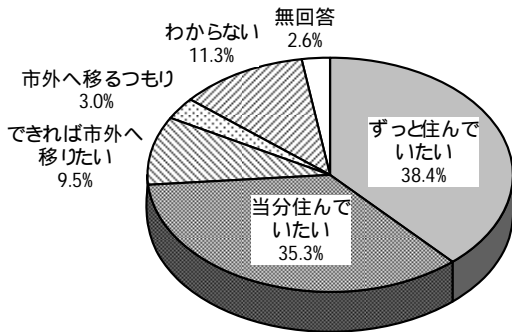
人間市の魅力(上位6項目)

「茶畑と狭山茶」、「人間万燈まつり」、「彩の森人間公園」などが上位



定住意識

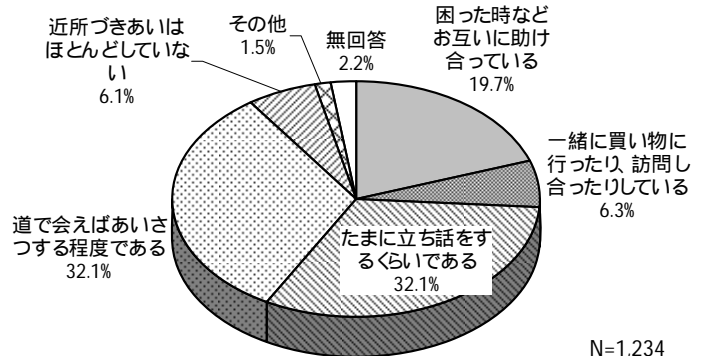
定住意向は 73.7%



N=1,234

近所づきあい

立ち話、あいさつ程度がそれぞれ 32.1%

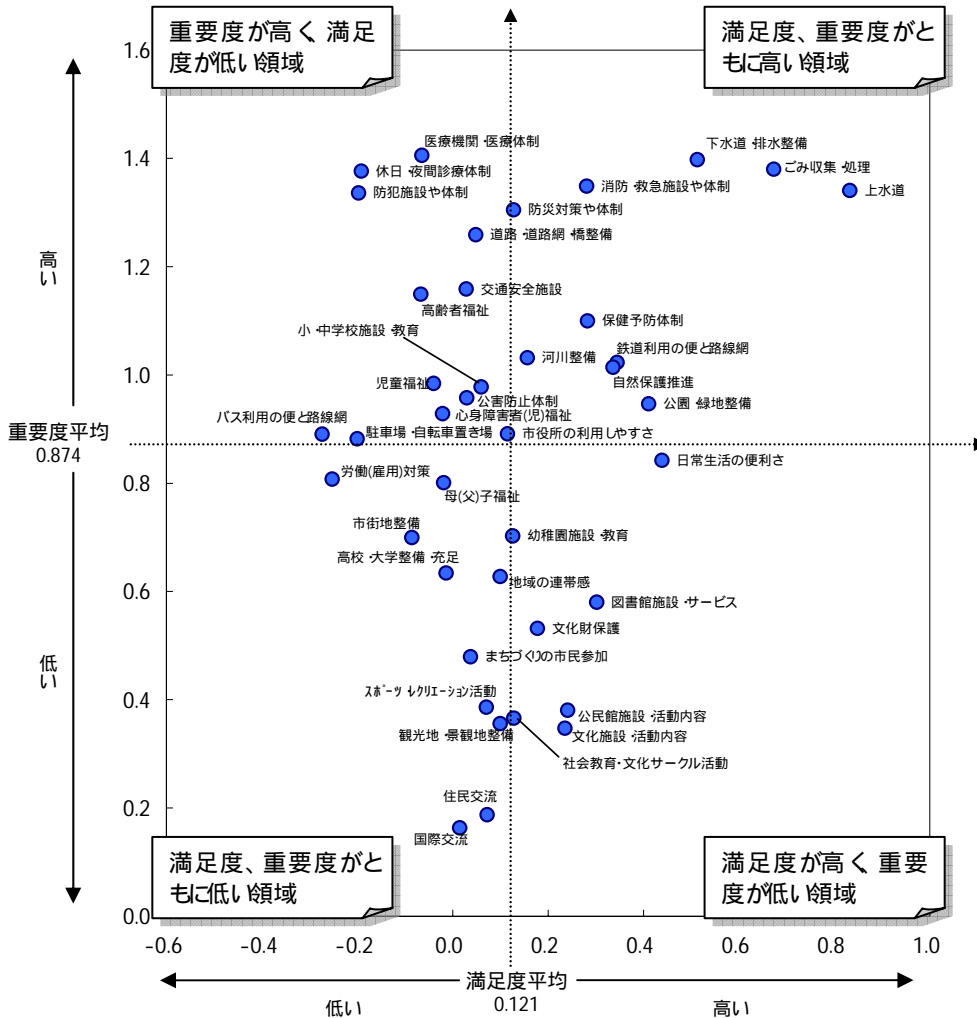


N=1,234

● 生活環境

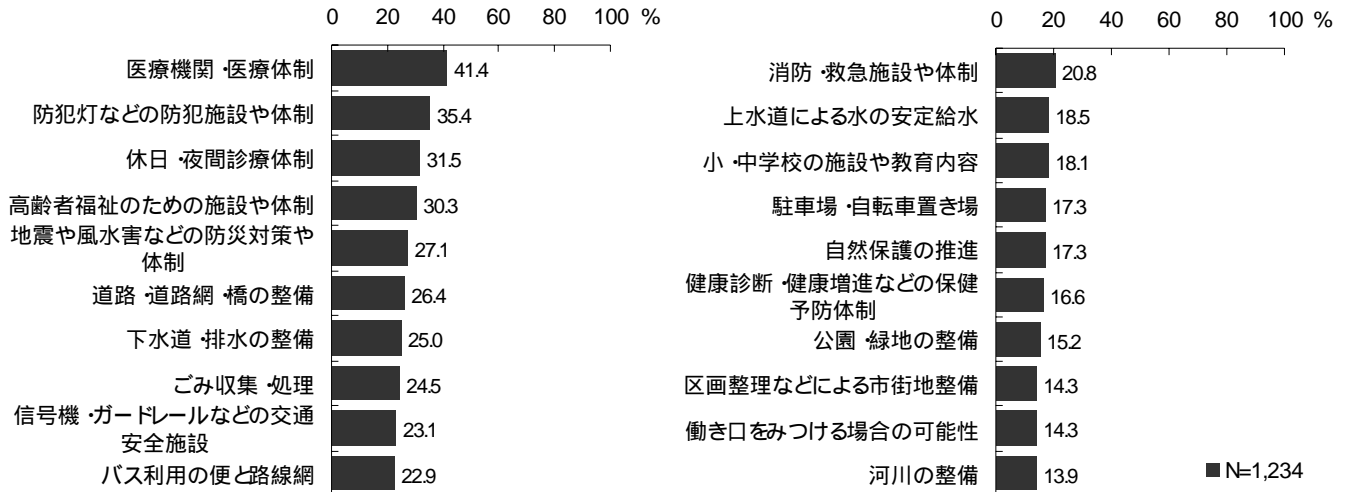
生活環境の満足度と重要度の散布図

満足度と重要度の相関図による分析結果



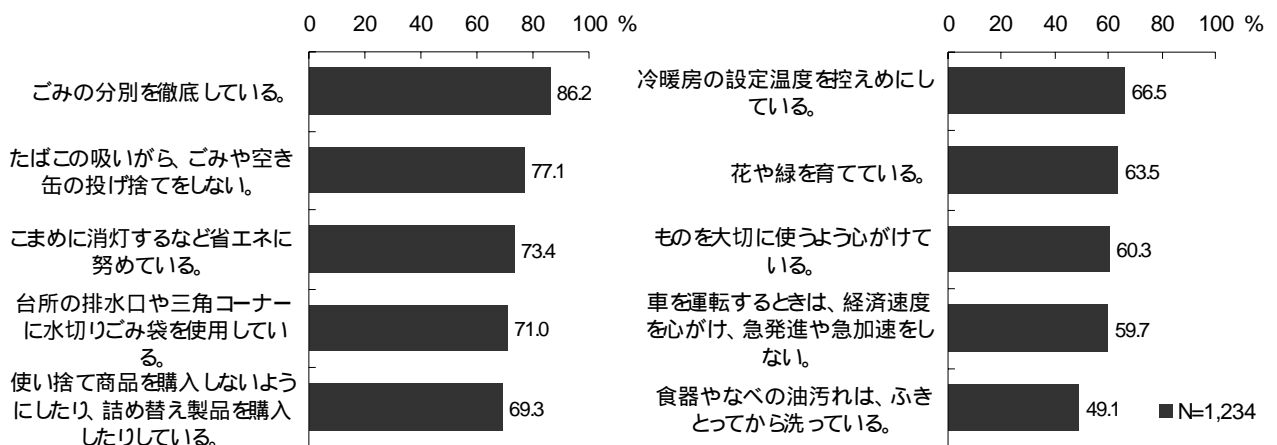
優先的に取り組むべき施策(上位 20 項目)

「医療機関・医療体制」(41.4%)、「防犯灯などの防犯施設や体制」(35.4%)、「休日・夜間診療体制」(31.5%)、「高齢者福祉のための施設や体制」(30.3%)、「地震や風水害などの防災対策や体制」(27.1%)、「地震や風水害などの防災対策や体制」(26.4%)などが上位



環境にやさしい取り組み(上位 10 項目)

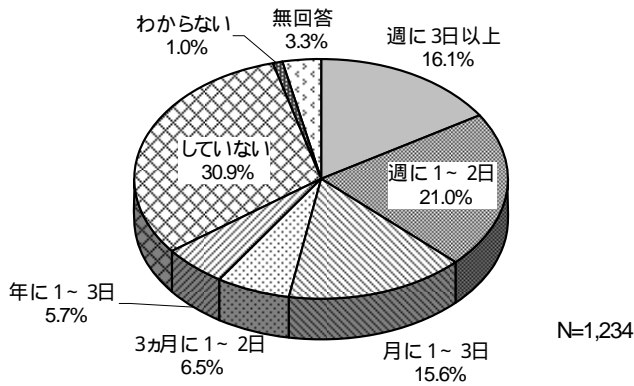
「ごみの分別を徹底している」(86.2%)、「たばこの吸いながら、ごみや空き缶の投げ捨てをしない」(77.1%)、「こまめに消灯するなど省エネに努めている」(73.4%)、「台所の排水口や三角コーナーに水切りごみ袋を使用している」(71.0%)が 70%以上



● 健康・スポーツ、芸術文化活動について

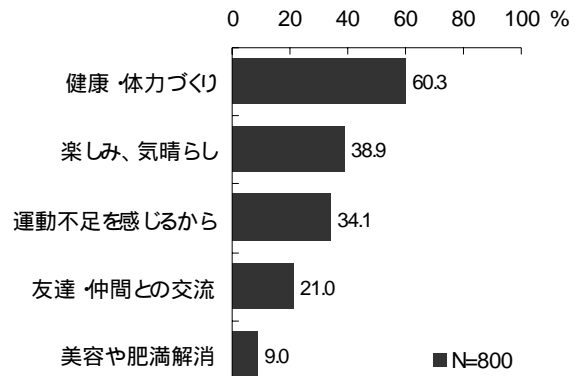
運動やスポーツの状況

週に1日以上運動している人は37.1%



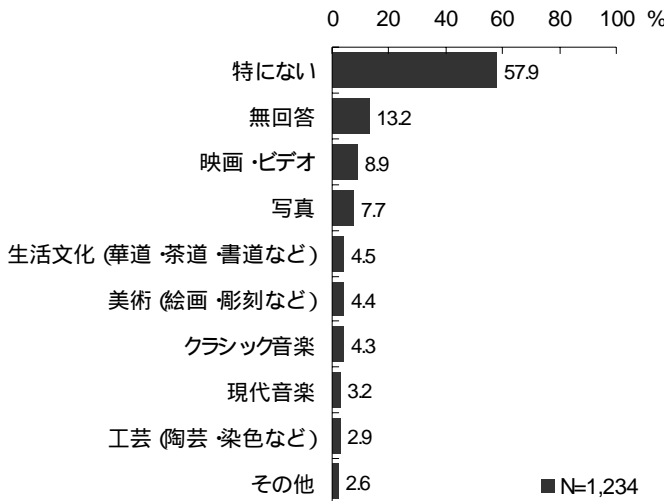
運動やスポーツを行った目的(上位5項目)

健康・体力づくりが60.3%



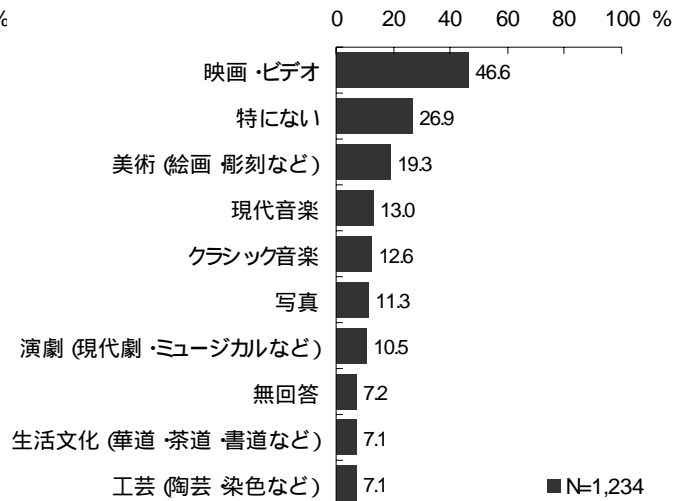
芸術文化活動(上位10項目)

特にない」が57.9%



芸術文化鑑賞(上位10項目)

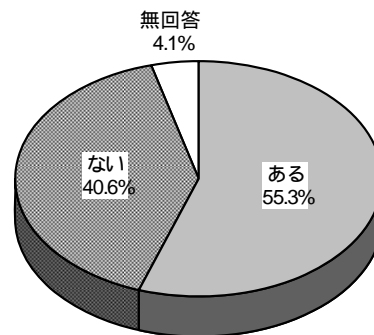
映画・ビデオ」が46.6%



● 防災関連について

防災への準備や対策

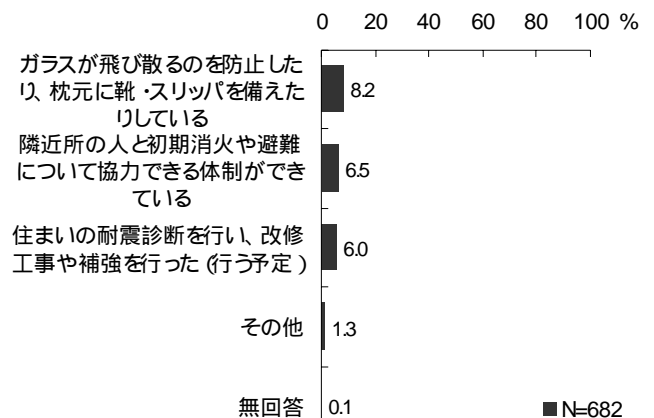
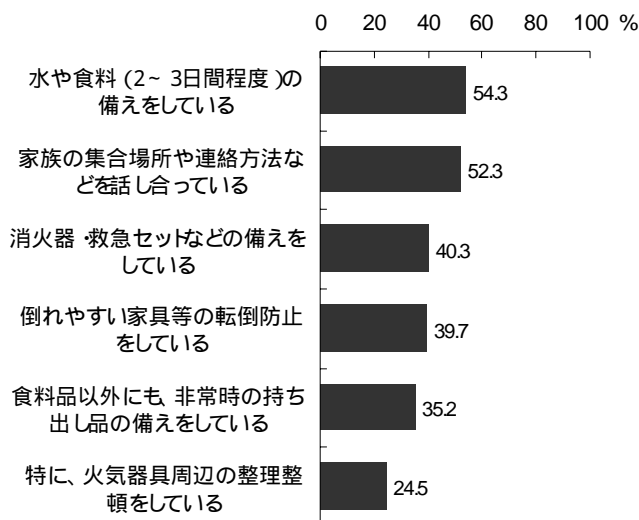
準備や対策は「ある」が 55.3%



N=1,234

防災時のための準備の内容

水や食料(2~3日程度)の備えをしている」(54.3%)、家族の集合場所や連絡方法などを話し合っている」(52.3%)、消火器・救急セットなどの備えをしている」(40.3%)などが上位

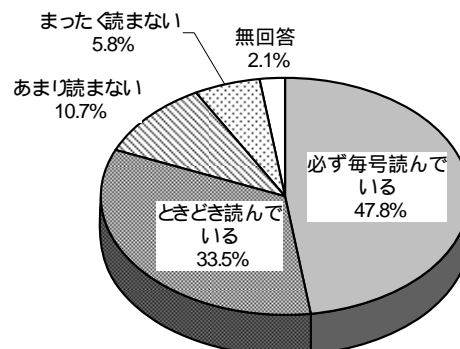


■ N=682

● 「広報いるま」や市政情報について

「広報いるま」

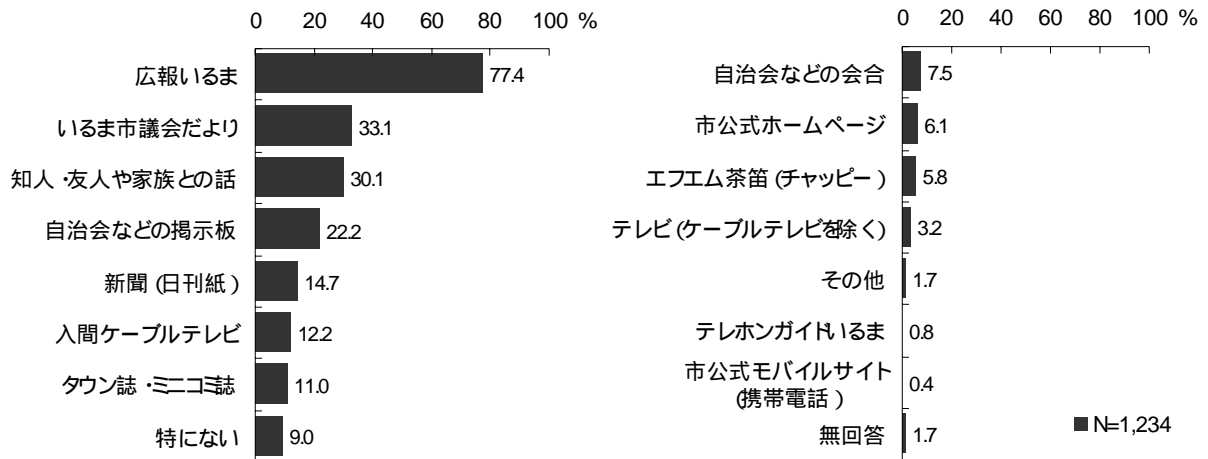
必ず毎号読んでいる」人が 47.8%、
ときどき読んでいる」人が 33.5%



N=1,234

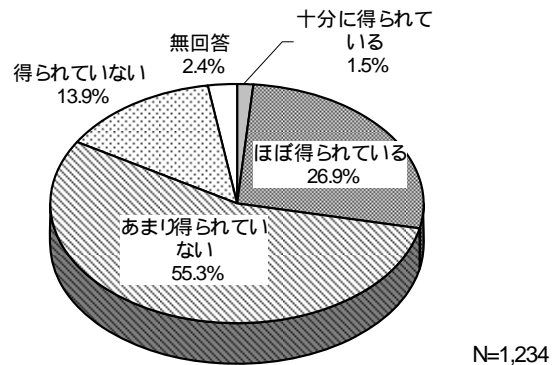
入間市の情報入手先

「広報いるま」が 77.4%、「いるま市議会だより」(33.1%)、「知人・友人や家族との話」(30.1%)が 30%以上



市政に関する情報について

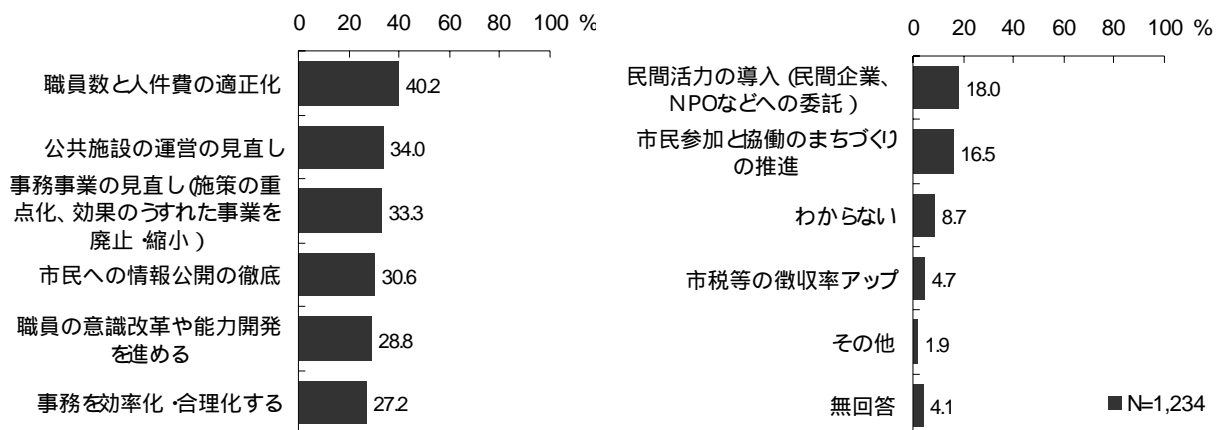
「得られていない」という人が 69.2%、
「得られている人は 28.4%



● 行財政改革について

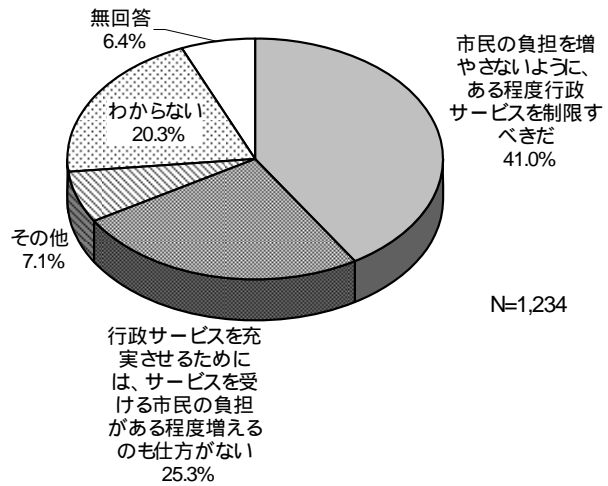
市が重点的に取り組むべき行財政改革

「職員数と人件費の適正化」が 40.2%



行政サービスの利用者負担

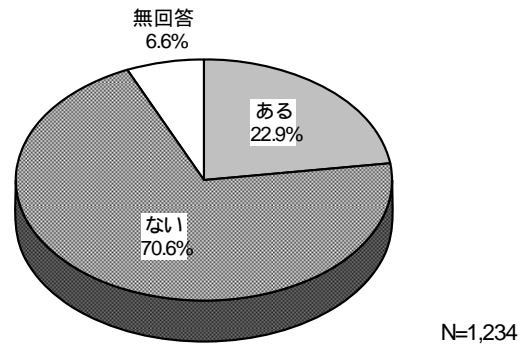
市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ」が 41.0%



● 人権問題

差別を受けたと感じた・差別しているのを見聞きしたことがあるか

ない」が 70.6%、ある」は 22.9%



差別の内容

学歴による差別」(34.8%)、子どもいじめ・体罰」(34.8%)、男女の差別」(31.2%)などが上位

